

事業報告書（令和6年度）

事業名 手紡ぎの会ふわふわ

団体名 手紡ぎの会ふわふわ 担当者名 サチダナンド世志花

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

6月19日 於：豊野公民館、自然農園コスモファーム畑

綿布、羊毛を草木で染める、学びと実習～茜染、藍畑の手入れ

さらし布でふんどしを縫う（草木で染めた布は薬布として健康増進になることを学び主催者を講師に、縫製もおこなった）



7月17日 草木染め、薬布（たまねぎの皮を持ち寄って）、藍畑の手入れ（雑草取り）



7月26日 はた織り講座、さをり織りの小物づくり 講師 柘平玲子先生



8月21日 藍染、畑で育てた藍を参加者で収穫し、生葉染めの実習を行う



9月17日 草木染め、くさぎ、キバナコスモスを収穫、

羊毛や綿布、糸を染める

糸紡ぎ、はた織など自由制作



(様式第8号)

10月14日 羊毛染め、糸紡ぎ、さをり織り



講師：三好真裕
ウール展準備
さをり織り講習

10月15日 まこも収穫、円座制作ワークショップの下準備



11月3日 文化祭、出展（地域の文化祭に参加、普段の活動を紹介し、作品を展示発表する場となる）



11月11日 まこも円座づくりワークショップ

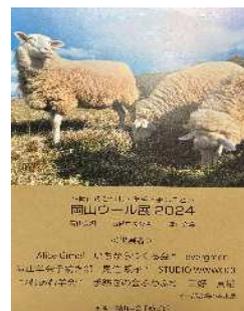


11月20日 草木染め、ヨウシュヤマゴボウ、きんもくせい、セイタカアワダチソウ、栗など、その他自由制作、糸紡ぎ
織物講座、自由制作



11月29日から12月1日 岡山ウール展・出展

12月11から21日 津山きづきにて ウール展出展



12月17日 映画上映会つ・む・ぐ～織人は風の道をゆく～ 於：豊野公民館ホール



1月15日 羊毛フェルト講座 ベレー帽を手作りしよう
講師 三好真裕 於：豊野公民館



2月4日 織物講座

2月19日 草木染め 天候のため延期

2. ESDの視点

① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

今年度は、継続参加の人のための発展的な講座を計画した。糸をつむげる人が複数人できるように、今後指導するときの手順や心構えなども学んだ。

また、自分で染めて紡いだ糸を、織物や編み物の作品にすることもできた。

作品の展示会も行うことができた。

また今年度の新しい内容として、地域でとれる植物を自分たちの手で採取し、草木染を毎回おこなった。植物の持つ、素晴らしい生命の個性、色、生活に生かす業を、持ち寄って知恵を分かち合った。草木のエネルギーを布に染めることで、薬布となり、身に着けることで癒しや、血流の安定などの効果があることを知り、参加者みんなが夢中になった。

普段から自然に目を向け、愛でる視点が芽生え、日常に感謝するようになった。

<p>② どのように学び合いを取り入れたか</p> <p>畑から栽培し、みんなで一緒に育てた植物を染色に利用した。 自然素材が故の脱色にも試行錯誤し、材料や薬品の研究、実験も積極的に進んだ。 地域の公民館を利用し、気軽に集い、参加者同士の情報収集、情報交換、交流を密に行った。 今年度中の活動として実習型の学びを深め、広く地域に根付いた体験の機会を提供ができ、当初の目標を達成することができた。</p>
<p>③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか</p> <p>学びの機会は、各自がインターネットの情報や書籍を用いた。 また、専門講師にも来ていただき、直接指導も受けることができた。 映画上映を行い、参加者と語り合い、意見交換を行った。</p>
<p>3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）</p> <p>本会の目的は、中山間地の豊富な自然資源を生かして、昔ながらの手法、伝統を受け継ぎ、技術を習得しながら育成者も育てることにあります。 三年目の今年度では、継続者の技術向上もあり、目標を達成しながらさらに向上を目指し継続していくことができました。 畑では綿や藍を栽培し、織物や染色の学びを深めました。 地域資源の羊毛は、地域の羊飼家に協力し、支援しながら、専門的な羊毛加工技術を教えていただきました。地域で暮らす年配者や専門家との交流を大切に、さらに地域が暮らしやすい優しい循環がひろがり、そのきっかけの場として活用していただけるように機会の提供をし、努力しました。 このような学びの会を通じて、昔の暮らしをおもいだし、一つのものを作りあげる工程を学ぶ中で、使い捨ての消費型生活を見直し、物や自然資源を大切にする心を養うきっかけになりました。</p>
<p>4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）</p> <p>地域の公民館、飲食店、コミュニティスペース、画廊などを利用し展示を行い、活動をしていただく機会を催しました。今後は、今までのつながりを大切にしながら、人材育成を継続して行きます。また小学校や放課後デイサービスで先生や子供たちとの交流の中で昔の知恵や技を伝えていける機会を模索します。 私たちの活動は、地域の自然資源、植物、地産地消の産物を生活に生かす知恵やアイデア、昔ながらの技を大切に、伝えていくことで、今の消費使い捨て文化を見直し、心豊かな人生とは何かを一人一人の思想の中に芽生えていくようなきっかけを提供することです。 体験を通じて素晴らしい活動に育っています。 ご支援をありがとうございます。</p>